

意見書：日本における現代アートの現状について

令和2年10月26日作成

児島やよい

現代アートは、現在進行形で生み出されているものであるため、評価がすぐには定まらないと言われている。

しかし、第二次世界大戦後の美術を指す「現代美術」も既に75年の歴史を有し、日本からも一定水準以上の評価を得ている日本の現存作家が数多く輩出している。だが、その日本の現代作家の作品を所蔵し常設展示する美術館が少ないことなど、様々な問題が従来から指摘されている現状にある。

日本での現代アートは

- 1 マーケットが育っていない
- 2 観客が育っていない
- 3 公立美術館での作品収蔵が少ない

という問題点を抱えている。

その原因として、前述の「評価が定まらない」と言われている（思われている）ことが、上記3つの問題点に循環的に作用していると思われる。

現代作家にとって、これらの問題点が解決される見通しが立たない（＝日本で活動しても、作品が売れず、美術館での収蔵展示が行われない）ことは死活問題であり、このため、日本に見切りをつけて海外での活動を中心とせざるを得ず、海外のギャラリーと契約し、作品販売も海外の美術館やコレクターに向けて行うようになる。その結果、日本を代表する現代作家の作品が海外のみに蓄積され、国内に残らないという状況（悪循環）が広まってきている。

（※例として、村上隆が挙げられる。彼の代表作は、そのほとんどが海外の美術館とコレクターの所蔵であり、国内で展覧会を開くためには莫大な借用料、保険料、輸送費を払わなければならない。）

長期的に見れば、この問題は日本にとって大きな損失であると考えられる。

短期的な問題として、

1 マーケットと文化的な価値は相容れないと思われがちだが、作品が売れること、作品を扱うギャラリービジネスが成功すること＝産業として成立することがなければ、優れた作家を育成することに結びつかない。

また、近年、アジア諸国のアートマーケットは急激な成長を遂げており、その中で日本のプレゼンスは小さくなるばかりである。香港や台湾のアートフェアは活況を呈し、日本はスキップされるという状況である。

2 一方で、現代アートを展示する美術館は若い世代とインバウンドを中心に人気を博すようになってきている。SNSでの発信が広まり、人々が美術館へ行く動機が劇的に変化している今、インスタレーションなど現代アートの展示に注目が集まっている。

(※例として、金沢 21 世紀美術館、ベネッセアートサイト直島、十和田市現代美術館、森美術館、東京都現代美術館、チームラボミュージアムなどが挙げられる。)

この人気をきっかけとして、観客が育っていない状況は改善のチャンスがあると考えられ、ひいては、マーケットを活性化させることにも結びつけられるチャンスでもあると言える。

3 現代アートの動きは早く、「評価が定まらない」と様子見をし、公立美術館での収蔵に時間がかかっている間に、海外でいち早く注目作家の作品が購入されていく。

個人コレクターの役割

今後、個人コレクターのコレクションに期待する、あるいは、頼る状況が増えてくると考えられる。公立美術館が購入できない間に日本の若手作家の作品をコレクションし、作家を支援し、美術館へ作品を貸し出しているコレクターによって、辛うじて日本の現代アートの問題点がカバーされていると言っても過言ではない。

(※例として、「高橋龍太郎コレクション」、「タグチ・アートコレクション」などが挙げられる。)

しかし、彼ら個人コレクターは、作品の収蔵庫にかかる経費負担や、相続の

問題などを抱えており、国や公的機関がそれを支える必要がある。

コレクターが自らのコレクションを公立美術館に寄贈・寄託したいと申し入れても、現状では、「収蔵庫の不足」を理由に断られている。美術館の所蔵品の収蔵庫さえ不足している状況ではやむを得ないと言われるが、このままでは、相続の際にコレクションを売却せざるを得ない状況に追い込まれ、結果として海外流出してしまう可能性が高いと危惧される。各美術館の収蔵庫不足を早急に解決し、また、現代アートのコレクターがコレクションを寄贈することで相続税の負担を軽くするといった施策が早急に求められる。

加えて、コレクターのコレクションを展示公開する場が非常に少ないことから、まずは国立新美術館をもっと有効活用することを提案したい。

現代アートの収蔵保管における問題

いわゆる絵画、彫刻にとどまらず、映像、インスタレーション、パフォーマンス、インタラクティブ（双方向）アート、メディアアートなど、多様な作品の保管にあたっては、従来の収蔵方法だけでは対応できなくなっている。

この問題は全世界的に議論が行われているところであるが、国内美術館においても早急な対応が求められる。

以上